



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
))))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 922 回(11 月 13 日)例会の記録

国際ロータリー第 2570 地区 鈴木秀憲ガバナー公式訪問

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 S A A 小島君、栗原(成)君

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30 名	29 名	96.55%	96.43%

会長の時間

若松会長



今日は、野口建司さんが長い療養生活を終えて復帰されてきました。本当にありがとうございます。本当に胸が熱くなりました。12 月から復帰ということでしたが、このお話を先ほどガバナーに致しましたら、「私の公式訪問に合わせてもらったのかな」とお話されており、正にその通りだと思います。お疲れ様でした。そしておめでとうございます。

今年度、R I 会長にお隣の第 2770 地区出身の田中作次様が就任されましたのは皆様ご周知の通りであります。田中 R I 会長は本年度のロータリーのテーマを「奉仕を通じて平和を」と決められました。それは「平和」をどのように定義するにしても私たちは「奉仕を通じて、平和をもっと現実に近づけることができる」とおっしゃっています。奉仕の元になる事業に対しても「成功させるには顧客の満足を目指す以外にない、顧客に喜んでもらえれば事業も成長する」とおっしゃっています。正にその通りだと思います。

そして本年度 R I 戦略計画の優先項目として「クラブのサポート強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、「公共イメージと認知度の向上」をあげられ、地区内のクラブにおいても一層の力を注いで頂くようお願いしたいと言われています。

本日、公式訪問でご指導頂きます第 2570 地区本年度ガバナー鈴木秀憲様も本年度の重点課題は奉

仕の追求である。そしてその中でも職業奉仕はロータリーの基本であり、その上で社会奉仕であり、更に国際奉仕であると言われていいます。

昨年度実施されました「我等の生業」を継続して更にレベルアップを追究して欲しいと新たに原稿の募集を募り色々のご指導なさっている所であります。

又、「いい風ふくよ」をテーマにまずは会員個々が職業奉仕に努め、その上でクラブや地区が社会奉仕、国際奉仕に努める。

そして・・・「真実に向かって、信ずる処に向って、活動しましょう。活動した結果は必ず成果となって表れます。良い風(新風)が必ずや吹くでしょう」と言われております。

「努力をすればいい風が吹く」是非そんな世の中であって欲しいものであります。

さて我々、狭山中央ロータリークラブも本年は節目の創立 20 周年の記念すべき年であります。年度計画の中でも各委員長さんに諸々の計画を立案して頂きました。

国際奉仕の一環として多年に渡って取組んで参りましたモンゴルにおける植樹事業も初年度事業分は無事終了する事が出来ました。これもロータリー財団におけるマッチンググラントを活用しての取組みを実施しようと言う事で現在担当委員長を介して申請中ではありますが詳細に関しましては後程のクラブ協議会において報告をして頂きたいと思ひます。

又、昨年雨のため中止し 2 年越しとなりました社会奉仕におけるフリーマーケットの参加であります。今年は晴天に恵まれて想像を越える売上を計上する事が出来ました。これも後程、担当より報告して頂きますが、活用をしっかりと見極めて行きたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

本年度の目標として R I 会長も鈴木ガバナーも強く推奨されております「公共イメージと認知度の向上」についてであります。今申し上げましたモンゴル植樹とフリーマーケット参加の両事業

に対し、市内ケーブルテレビの協力を頂き活動の場を放映して頂いております。(入間・飯能・川越でも放映してもらいました)

それを見た知人の方達から「素晴らしい事をしてるね」等お言葉を頂きますが、公共イメージは時間を掛けて継続して行く事が大事な事と思えます。これからも色々な企画を市民の皆様へお伝えして行ければと考えている所であります。

次に会員増強についてお話しします。世界的にロータリー会員減少に歯止めが利かない今、私たち狭山中央ロータリークラブでは「楽しい例会を企画し退会ゼロ」を目指し、更に「最低2名の会員増員を計る」を目標として取り組んでいます。「楽しい例会を企画し退会ゼロ」に関しましては例会場も変わり皆様の協力もあって例会参加率も高く、一応目標をクリアしつつありますが、「会員増強」に関しましては、2名の目標に対し東会員の1名という事でもう少し努力が必要となります。今年の増強委員長は気合い、やる気とも充分であります。一人では簡単に結果はついて来ませんが、やっぱり「All for ONE, ONE for All」すなわち(全体は一人のために、一人は全体のために)の精神が不可欠でございます。

私もこれまでは「ガバナー公式訪問」が終わるまでは動けないと思っていましたので、これからは増強委員長と力を合せて頑張っていきたいと思えます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

又、今月20,21日と2日間で東北地方へ被災地の復興状況の視察と昨年度奉仕事業として100万円の寄附をさせて頂いた女川町へ蒲鉾工場の視察等を実施致します。沢山の参加を頂いております。ありがとうございます。

そして又、節目の20周年記念事業であります。20周年と言うのは大変な積み重ねであります。先輩諸氏が築かれた歴史を思い出に残せる様しっかりと企画して参りたいと思えます。

まだ詳細は決めてありませんが皆様のご意見等も組み入れて行きたいと思えますのでご協力の程宜しくお願い致します。

我々のクラブでは現在地区委員として3名の方にご活躍して頂いております。会の運営にあたって色々バックアップして頂き大変感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。

色々報告しておりますが、節目の20周年という事で今年度は例年になく業時が企画されています。

この4ヶ月が過ぎて我々狭山中央ロータリーを振り返りますと、諸々の活動がしっかりと「地に足がついてる」と感じられてなりません。

これは正に20年という年月をかけて築かれてきた狭山中央ロータリークラブの風土であり文化なんだらうと思えます。これからも友愛の精神で皆で継続して行きましょう。

最後になりますが誰が作られたのか素晴らしい詩があります。

戦前の日本にあって戦後の日本にないもの、その最大なもの「思いやりの心」と言われています。それを集約された詩の様な気がします。それをご披露させて頂き本日の報告と致します。

【その一言】

- ・その一言で 励まされ
- ・その一言で 夢をもち
- ・その一言で 腹がたち
- ・その一言で がっかりし
- ・その一言で 泣かされる

ほんの僅かな一言が不思議な力をもつ、ほんのちょっとした一言で。以上です。この詩を良く理解してもらえればエレクト問題も解決する様な気がします。

幹事報告

稲見幹事

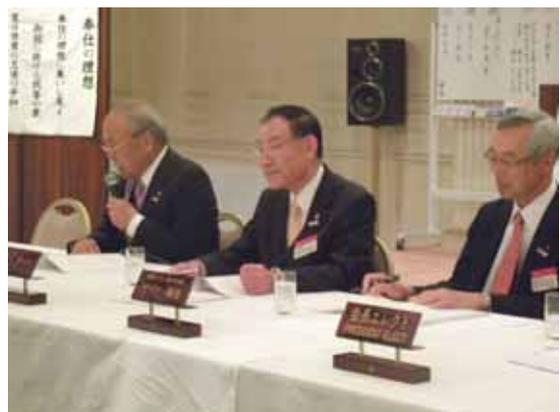
1. リスボン国際大会参加について
2. R I 日本事務局より、奉仕室臨時ニュースレター第2回・第3回について
3. R I より、ロータリー調査部ニュースレターについて
4. R 財団「毎年あなたも100ドルを」について
5. ロータリーの友代表委員より、投稿のお願いについて
6. ガバナー公式訪問例会原稿執筆依頼について
7. 冬の交通事故防止運動広報啓発活動への協力依頼について
8. 例会変更 所沢中央RC 所沢東RC
新所沢RC 狭山RC 飯能RC
9. 受贈会報 飯能RC 入間南RC

委員会報告

親睦活動

益子委員長

来週は、家族同伴での東北旅行になっております。本日、集合時間等々のお知らせをお配り致しました。大宮集合ですので時間に遅れないようにお願い致します。



「外来卓話」・・・・・・・・

国際ロータリー第 2570 地区
ガバナー 鈴木 秀 憲 様



皆様こんにちは。本日は公式訪問と言う事でご歓迎頂き、厚く御礼申し上げます。

又、昨年度はガバナーエレクトとして大変お世話になりました。

私の所属している吹上 RC は第 5 グループ、少人数クラブです。しかし私自身の職業の活動基盤が行田であり、行田 RC は親クラブ、行田さくら RC が兄クラブと言う事も有りまして、行田 RC ・行田さくら RC からの全面支援を頂いております。平成の大合併で吹上町は鴻巣市となり、その際に吹上 RC は 2770 地区に移るか 2570 地区に留まるか、クラブ全員で討議をいたしました。その結果、住居表示は変わっても親子関係は変わらないという結論で、RID2570 へ留まらせて頂くこととなりました。なお鴻巣市に有る 2770 地区所属 2 クラブとも合同例会を開催し交流いたしております。

本年 1 月アメリカ・サンディエゴで研修を 1 週間受けてまいりました。世界には 530 の地区がありますので、530 名のガバナーがおります。連れ合いも一緒にということですので、1000 人以上が毎日全体会に参加を致します。

全体会では、田中作次 RI 会長の「Peace Through Service = 奉仕を通じて平和を」を初め、色々な教えや経験が英語で発表なされて、我々は同時通訳でお話を伺いました。又、全体会の後には必ず少人数の分科会が RLI 方式で行われ、詳細（例えば「奉仕とは」）についての議論が行われ、皆熱心に討議しました。

まずは、我々ロータリアンの行動の原点となる「ロータリーの綱領」ですが、この綱領という言葉が難しいので、「ロータリーの目的」と読替えて下さい。又、本文中に鼓吹という言葉が出て来ますが、これは広めると言う言葉に置き換えることも良いと考えて居ります。

そうすると、「ロータリーの綱領」は次のようになります。

ロータリーの目的は、奉仕の理想を広め育成する

事です。特に次の 4 項目を広め育成する事です。

第 1 奉仕の機会を通じて知り合いを広める。

第 2 事業・専門職の道徳的水準を高める。(磨く)

第 3 個人・事業・社会生活に奉仕の理想を適用。

第 4 国際間の理解と親善と平和を推進。

どうやら来春の規定審議会で 5 番目の新世代奉仕を入れた、新しい「ロータリーの綱領」が出てくる予定です。

RI 会長の話を受けて、私は地区で「奉仕の追求」を重要課題に掲げました。

組織は事業を行う為のものとして考えます。そして、事業を円滑に行う為に組織運営が必要と考えます。これがクラブ奉仕と考えます。

職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕が前述の事業であり、ロータリーの基本であると考えます。

職業奉仕は 自分と職業の確立として自らが行うことと考えます。

具体的には自分を磨き、自分の職業を磨く事です。常にお客様や世間の事を大切に考える観点から、製造業は製品を、商業は商品を、サービス業はサービス内容を、磨く（即ちレベルアップする）事が大切です。その結果お客様は満足され、その結果お店は繁盛し、利益も付いて来ます。

随分前に私たちがロータリーに入った時には、ロータリーは「I Serve」、ラインオンズさんが「We Serve」だと、聞いたことがあります。私はロータリーも地域のために一生懸命行っているのだから「We Serve」があるではないかと思っていたのですが、ロータリーは職業奉仕が第 1 位であるから「I Serve」なのではないかと理解致しました。職業奉仕は自分を磨くこと、自分の会社のレベルアップをすることと、全て自分で行うことです。ここにロータリーが「I Serve」と言われる所以が有るだろうと思っています。

社会奉仕は 各々が職業奉仕を実践した上で、主としてクラブの活動により広い意味での地域の活性化を図ることと考えます。広い意味での「地域の活性化」と言う事が出来るでしょう。

国際奉仕は 広い意味での「世界の平和」と言う事が出来るでしょう。平和とは、戦争や紛争等の解決だけでなく、健康・教育・友愛・地域の発展等も含まれます。

新世代は上記社会奉仕・国際奉仕の事業の中で特に次世代の方へ焦点を当てて行う事業即ち「次世代の育成」と考えます。

RI の本年度の 3 カ年の長期計画重点項目のうちでは、クラブのサポートと強化（会員増強）と公共イメージと認知度の向上が運営（クラブ奉仕）の重点項目にあたると思います。

他には・人道的奉仕の重点化と増加があります。これは事業実施特に国際奉仕に関係するところです。

会員増強(クラブのサポートと強化)については、尊敬され、憧れの的になるロータリアン 私もロータリアンになりたい その結果が会員増強になる。これが一番と考えます。まずは会員個々が、自分と自分の職業を磨く事。その結果、世間から尊敬され、お店も繁盛する。というように、会員個々の資質を高めることから始める事が大切と考えます。公共イメージと認知度の向上については、先にメディアの活用が有るのではなく、我々が、世間から理解されるロータリー 夫々のクラブ事業と地区を挙げての事業について、世間の印象に残り、世間から理解・評価される。この事が大切と考えます。言い換えると、まずは、世間に対して有用な事業を行う事。その上で、効果的な広報を行う地元メディアを活用する等 が有ると考えます。

社会奉仕は、クラブ主導で地域活性化の為に役立つものを実施すべく考えます。夫々の地域での要望は色々です。個々に応ずる事で良いのですが、場合によっては、広域(市域・グループ・地区)合同で世間へアピールする必要もあると考えます。それは売名では無く実施事業への理解を得る為です。地域で必要とされている事は、社会の変化と共に常に変わります。「毎年行ってきたから今年も行う」と云う事ではなく、年度毎に、その事業の必要性や成果について見直す「この地域に必要な事は何か？」と言う事を考える事が大切であると思います。長期間にわたって支援を必要とする案件がある場合には、行政等への提言も必要ではないでしょうか。むしろその分、陽の当たらない事業等を新たに支援する事も検討するべきです。

ロータリー希望の風奨学金へのご協力をお願い致します。本年度は、東日本大震災への支援を地区分担金へ上乘せしてご協力頂く姿ではなく、各人にもう一度お考え頂いた上で昨年同様のご協力を頂きたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。詳しくはロータリーの友 8月号 22~27 頁をご覧ください。

地区では広域に亘って必要とされる事を地区事業として推進しております。特にさきたま古墳群の「めざせ世界遺産」事業は、単に世界遺産を狙うと云う事だけでなく、埼玉県名発祥の地のある古墳群を県民皆で勉強しアピールする事、即ち「地元埼玉県に関心・愛着を持つ = 郷土愛を育成する」事に意義が有ると考えます。ロータリーは、会員とクラブ数の拡大によって、埼玉県が2地区に分かれました。この事は意見が分かれたと云う事では無く、分けた方が運営をやり易いと云う事にして、考えは一緒です。本事業は、埼玉県全域を対象としていますので、

第 2770 地区と連携して行っています。他の事業でも、一緒に行った方が良いと思われる事については第 2770 地区と連携して行います。宜しくご理解下さい。今後も鋭意努力してまいります。皆様の声にもよく耳を傾けたいと考えております。引き続いての御支援を宜しくお願い申し上げます。

・・・クラブ協議会・・・

司会進行 若松会長
これよりクラブ協議会を始めさせていただきます。皆さんよろしくお願い致します。

クラブ管理運営委員会))))) 益子信明)
楽しいロータリークラブであることを実践しつつ、クラブの効果的な運営を通じて、地域社会に奉仕を提供し、会員の維持・増強、クラブや地区のリーダーを生み出していくことを目標にしています。皆様のご協力をお願い致しますということで、今年度は社会奉仕部門クラブ支援委員長に田中八束会員、社会奉仕部門プライダル担当に栗原憲司会長エレクト、米山記念奨学部門・奨学学友委員会に宮野ふさ子会員がなっております。今後とも宜しくお願い致します。

出席委員長))))))))) 宮野ふさ子)
1. 今年度の出席委員会は、出席率の向上を第一目標に掲げます。
2. まずは自ら出席します。
3. 出席率の低い会員さんに積極的に声をかけ、まずは例会への出席からを実施したいと思えます。

という目標を掲げましたが、2 番目の自ら出席しますということが、ここの所色々な用事と重なり守れないことがありました。しかしご安心ください。私は地区の役員もしておりますので、メーカーは十分にしております。私はメーカーで 100%の出席率を保っておりますので、是非皆さんも自分のクラブの例会に出られないときにはメーカーをされると良いと思います。

地区役員の米山月間で色々回らせて頂きましたが、それぞれのクラブに色々な特徴があり、非常に楽しいということに気づきました。例えば皆でセレモニーが終わった後に、全員と握手をするクラブや、SAA さんが出席報告・お客様紹介も全て仕切るクラブ等、色々なクラブのやり方があり、非常に面白いと思っております。是非皆さんも欠席をしたときにはメーカーをして頂きたいと思えます。

会報委員長))))))))) 吉川千鶴子)

毎回、会員の皆様が目を通すのは週報だと思えます。前々年度でしたか、会員皆様のプロフィールがとても好評でした。それに倣いまして、今回ロータリー世界の情勢はもちろんのこと、ご家族の特技や自慢できること等、ちょっと読んで微笑みたくなるような話題を紹介して頂けたら良いなと思えます。この活動に推進してさらなる情報に心掛けていきたいと思えます。

親睦活動委員長))))))))) 益子伸明)

今年も楽しいロータリークラブを実践していきますということで、7月に家族同伴の夜間例会、演歌歌手の方とベリーダンス、同じく7月~8月にかけてモンゴルの植樹事業の中での現地での懇親会、9月18日の家族同伴のお月見夜間例会が実施されております。そして来週は家族同伴東北地方の旅行になっており、12月25日は家族同伴夜間例会、年始の市内3ロータリー合同新春例会、2月には東京スカイツリーをメインとした日帰り旅行を予定しておりますし、3月は恒例のお花見、5月は20周年記念のパーティー、6月は最終となる家族同伴の夜間例会と、目白押しでお酒を飲む機会が多いのですが、ロータリークラブを通じて、会員相互の友情を深めると共に、退会防止に努めていきたいと思えますので、今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。

プログラム委員長))))))))) 佐藤圭司)

楽しい例会を企画し、退会0を目標とし、最低2名の会員増員を図る、そして全体は一人のために、一人は全体のためにという精神を欠かせないと述べております。私もこの精神に共感し、楽しく充実したプログラムにしたいと考えております。会長がお話されている通り、全体は一人のために、一人は全体のためにということが、非常にその通りだと私も考えておりますし、特に中央ロータリークラブは楽しいクラブであり、会長を筆頭に非常に上手く運営されていると思えます。クラブ委員としては、7月から始まりまして、今の所皆様のご協力もありましてスムーズに、外来卓話等色々な行事がどんどん進んでおります。来年に向けて色々なプログラムで色々な企画が出てくると思えますので、宜しくお願い致します。

ゴルフ委員長))))))))) 沼崎正徳)

ロータリークラブが活性化し、未永く維持される根源は、会員の相互理解と増員につきると理解しております。その為の一役を担うのがゴルフ委員会の務めと心得まして、会長の方針に従い、一回でも多くコンペをしようという訳なのですが、案外難しいです。親睦委員会とのスケジュールが錯綜しますし、さて行おうかと思うとガバナー公式訪問とぶつかってしまったりしますので、当クラブ独自のゴルフコンペを開催しますと旗を挙げ

ておきながら、未だ一度も開催できない状態でございます。非常に反省をしております。会員増強のためにも、ゴルフ好きの近隣の経営者を狙い撃ちしまして、その人に入会を誘おうという魂胆を持っております。次に上部組織主催のゴルフコンペ、これはすごいです。私どものクラスはベスグロという賞を勝ち取った会員がおりまして、いつでも挑戦には応じようと、他のクラブからも交流コンペの話がありましたらいつでもその気になっております。ゴルフ委員長の方針でありました。

SAA))))))))))))) 江原伸夫)

今年度は狭山中央ロータリークラブの20周年に当たるということで、それをしっかりと踏まえた上で、若松会長のお考えの下に、現会員の皆様とはもちろんのこと、新しい仲間を増やしていきたい、そして活動方針を守りつつも、毎週行われる例会を皆様と共に楽しく過ごせたら、どれだけ魅力ある狭山中央ロータリーであるかということも外に伝えていけるのではないかと考えております。そして節目の年度を明るく充実感のある例会にできますように、心掛けていくつもりではありますが、やはり例会を行うときにいつも感じることで、私がSAAをお引き受けし、最初の例会の時に、携帯をマナーモードに変えて頂きたいというお話をさせて頂きました。こうした一人一人の思いを守って頂けることによって、お話しされる皆様のお言葉に耳を傾けて頂いた上で、温かい仲間作りが出来るのではないかと考えております。今後共、ご協力のほど宜しくお願い致します。

またこれから後半に向けて、各委員長の方色々催し物を考えて頂けると思っておりますが、その際に、私もまだ5期目に入ったばかりでございますが、諸先輩方の様々な面でのご協力を頂かないと各委員長の方々も次に進めることができないかと思えますので、この点につきましても是非ともご協力をお願い致します。

『ガバナー講評』)

クラブ管理運営部門、クラブ管理運営委員会さんは、その中の各委員会と連携を保ちながらやり頂いていくことだろうと思っております。

出席委員会さんからメーキャップは楽しいという話がありましたが、まさにその通りで、他所に行くともまるで違った、クラブ毎に文化があると感じております。メーキャップと言いますと、欠席を取り繕うという感覚になりますが、もっと積極的に、たまには他所を見に行こうという位の感覚で使って頂くのも良いのかなと思えます。私も何年か前に東京クラブに行って参りましたが、やはり素晴らしいです。そうした所をたまには観に行くことも良いと思えます。

会報委員会さん、個人のプロフィールを入れるということ、非常に良いと思えます。会報はやはり、例会の臨場感ができるものが一つの醍醐味であ

ると思っております。クラブによりましては、週報を会員増強に使っているクラブもあるそうです。口で色々言うよりも、週報を渡した方が分かりやすいということも聞いております。充実した週報をお願いしたいと思っております。

親睦活動委員会さんは、沢山ご計画を頂いております。家族同伴は旅行等 5 回程あるようですが、外国では常に家族が一緒に、奥様方が出てくる例会もある位ですので、せめて家族同伴というときには多くの方に参加して頂けるように、お計らい頂けると良いと思っております。

プログラム委員会さんですが、色々な行事が沢山入っております。今伺いながら見させて頂きましたが、やはり他のものが沢山入ってしまう為、会員卓話が少なくなってしまうようで、年間で 10 人位しか会員卓話が出来ないということです。これはこれで良いと思っておりますが、やはり会員の努力している姿も聞いて差し上げると、その方がまた努力をするのではないかと思います。私はなるべくは、どうしたらレベルアップしていくか等ということをお話して頂けたら有り難いと思っております。

ゴルフ委員会さん、今日の公式訪問でつぶれてしまったようで申し訳ありません。また別の機会で開催して頂きたいと思っております。楽しいことをしながら話をしていくということは、前向きな話に繋がると思っております。その中からクラブ運営の良い話なども出ると思っておりますので、開催を宜しくお願い致します。

SAA さん、今日も仕切って頂いております。先ほど国際協議会の話で報告するのを忘れてしまいましたが、私達が国際協議会へ出席しますと、名札にチップが入っているのですが、入り口でそのチップをチェックされます。それが無い人は勿論入れませんし、それだけではなく、部屋に残っていた人が全てチェックをされています。会場監督ですから、それぐらいの権限があるのだということをお改めて国際協議会の場では知らされました。また地区の話では、例会の始まる前に「開会～分前です」といったアナウンスをしておりますが、あるクラブでは「開会 30 秒前です。目を閉じて心を静かにお待ち下さい。」と言って例会が始まりました。非常に厳かな気持ちになると感じました。参考にして頂ければと思っております。

クラブ公共イメージ委員会)

クラブ公共イメージ委員長))) 小幡直樹)

ロータリークラブの名前を知っている市民の方はいらっしゃると思いますが、何をやっているのかということをご存知の市民は少ないのではないかと思います。当ロータリークラブでは、テレビで放映するのが一番良いのではないかとということで、ケーブルテレビをおおいに利用し、今年企画しました事業を放映して頂きました。一つは日蒙国交 40 周年記念並びに当ロータリークラブ 20 周年記念のモンゴル植樹、こちらはカメラマンさん

を同伴して行ってきました。9 月 28 日～10 月 4 日まで狭山ケーブルテレビで、2500 世帯が放映を受けているようですが、1 日 4 回、1 週間に渡り特別番組として 30 分間放映して頂き、またさらに近隣の川越、入間、飯能にも放映して頂き、市民の方にロータリークラブとは何をやっているのかということをお少し理解して頂けたのではないかと思います。また 10 月 20 日に当クラブ会員の大病院主催のフリーマーケットにロータリーのタスキを掛け出展した様子も、狭山ケーブルテレビに放映して頂き、ロータリークラブというものを市民にある程度理解して頂けたのではないかと考えております。

会員増強委員会)

会員増強委員長)))))))) 中谷和美)

今日本のロータリーの会員減少に歯止めがかかりません。当クラブも例外ではなく、私が入会致しました 5 年前には約 40 名の会員がいましたが、現在は 30 名まで減少しております。これ以上の減少が続きますとクラブの運営に支障をきたします。また思い切った奉仕活動ができなくなる恐れがあります。今や会員増強はクラブの重要な課題となっております。私が 6 月に地区の会員増強セミナーに参加した時、RLI 方式によるセッションで、RLI 委員の方が各クラブの会長さんに「何名位の会員がクラブとして適正か」と聞いた所、大体 40 名～50 名という答えが一番多かったように思います。ちなみに日本の 1 クラブの平均会員数は約 43 名だそうです。当クラブもこれを目標に、クラブとして明確な方針を掲げて、会員全員が一丸となって増強に努めなければ、良い成果は得られないと思っております。そして掲げました方針は単年度では終わらず、次年度の会長、そして増強委員長に継続をして頂き、目的を達成するまでは全員が強い意志と熱意を持って増強を推進していかなければ、会員の拡大は望めないと思っております。先ほど会長がこのガバナー公式訪問が終わりましたら、会員増強に力を入れたいと仰っておりますので、心強く思っております。共に力を合わせて、一生懸命会員増強に励みたいと思っております。また今年、クラブが創立 20 周年になります。せめて何名かの新会員を確保し、この式典に花を添えたいと思っておりますので、会員の皆さんの絶大なご支援とご協力をお願いしたいと思います。最後に、先ほどガバナーが、会員増強にはクラブ内の会員自身が自己を磨かなければならないとお話されました。そうすれば新しい会員の方が入会してくれる要素もあるということですが、その他に、会員増強に対して妙案がありましたら、是非ご教授をお願いしたいと思います。

職業分類委員長)))))))) 野口留雄)

先ほどから会員増強ということが再三叫ばれておりますが、ロータリーの重点政策としてまず会

員増強、やはり退会の防止ということに努めて行くということです。増強委員会と連携を取りながら、未充填の小企業を抽出致しまして増強を検討し、増強委員会に提案・協力し、内部充実と優秀な会員の発掘に努めていきたいと思っております。私も過去に於きましては約8人の会員を紹介しておりますが、紹介した人がほとんど辞めてしまい、所沢のクラブ1人残っているだけです。今この人たちにもう一度声を掛けている最中なのですが、一度離れてしまうと戻るといことはなかなか大変だということで、結果は出ておりません。しかしこれからもこうした過去の人たち、そして新しい人たちにも声を掛け、増強の協力をしたいと思っております。

R情報・雑誌委員長))))) 浜野貴子)

雑誌「ロータリーの友」の購読を通じて、世界及び日本各地のロータリーの情報や、ロータリアンとしての自覚を再認識して、日々の活動に活かしていきたいと思っております。また例会に於いて、月1回、「ロータリーの友」の興味深い記事を、会員の皆様に紹介して参りたいと思っております。こうした活動ですが、先日セミナーに参加してきました、「ロータリーの友」編集長の方から色々な興味深いお話を聞いてきました。熟読しますと読み応えのある雑誌だと再認識しております。皆様お忙しいので、なかなか読む時間がないと思いますが、雑誌をリビングに置きますと、奥様が読まれて、それを通じて奥様通しの交流が図られているというお話も聞きますので、是非興味深い記事を紹介していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

『ガバナー講評』)

まず公共イメージということで、まったくおっしゃる通りだと思います。ロータリークラブって何？何をしているの？どんな人が活躍しているの？と、これは会員でも明確に答えられない場合が結構あると思います。余り難しい言葉は使わず、日ごろの平易な言葉でお話をされるのが一番良いと思っております。資料に「ロータリーの綱領にある目的を達成するため」と書かれておりますが、【綱領】などと言わずに【ロータリーの目的】とストレートにして頂いた方が良いのではないかと私は思っております。宜しくお願い致します。また、ケーブルテレビさんを積極活用されているということ、モンゴルまで連れて行ったということは本当にすごいと思います。メンバーさんが社長さんだそうですが、大変素晴らしいことだと思っております。何でもそうですが、理屈を言う前に実践をするということ、特にケーブルテレビを利用ということは一番分かり易いだろうと思います。そして、メンバーさんは埼玉新聞をあまり取っていないのですが、国の機関の出先、県の出先、県庁の職員、学校の先生、市町村の職員、大手企

業の会社の方々(地元の動きを気にしています)或いは地域でボランティア活動等をしているの方々、そうした意味ではオピニオンリーダー的な方もお読みになっているので、たまには埼玉新聞もご利用頂ければと思っております。

会員増強、全くご苦勞をお掛け致します。皆様方が増強をしているのですが、どうしても同じ位減ってしまっているもので、結果としてなかなか増えないということがあるかと思えます。やはりロータリーに入って頂いて、自分の存在感がないとお辞めになってしまうのかと思えます。このクラブではあなたが必要だという存在感を意識できる形でいて頂く、一生懸命増強して頂いているのに、同じ数だけ抜けてしまったら同じことですので、入るまでを丁寧にするのではなく、入って頂いてから丁寧に扱って頂ければと思えます。また一度辞めてしまうと、発言がプラスではなくマイナスになってしまいます。なるべく辞める方を出さないということなのでしょうが、残念ながら私のところでも上手くいっていないことがございます。そして増強に何か良い手はないかと言われましても、私もわからないのですが、職業分類で職業ごとに補充していくということが一番常套なのだろうと思えます。

話が少し変わってしまうのですが、会員増強のセミナーで聞いたかわかりませんが「サクジ作戦」、これは、今までの増強というものはそれぞれの地域で行っていましたが、他所の人に言うものです。例えば九州にいる親戚に言ったり、東北にいる友達に声を掛けたりして、その地区で入会しないかということをお互いにしようという考え方です。今後地区の方から知らせが来ると思えますので、その節にはご協力をお願いしたいと思います。

R情報委員さんは本当に大変だと思います。情報委員さんになると、毎月「ロータリーの友」が来ると直に読まなければならないということ、少なくともご自分は勉強されるだと思っておりますが、本当にその気になって読むと結構良いことが書いてあります。ところが頂いて、大体車の中に入っていることが多いです。そうするとなかなか読まないということになるわけで、是非R情報・雑誌委員会の方から良いものを紹介して頂きたいと思っております。

先ほど週報を会員増強に使っているところがあるというお話を致しましたが、「ロータリーの友」も会員増強にお使い頂いているクラブもあります。それにはやはり自分が読まなければということがあるかと思えますが、宜しくご活用頂きたいと思えます。

奉仕プロジェクト委員会)

奉仕プロジェクト委員長)))) 片山) 進

奉仕プロジェクト委員会は効率・効果的なロータリークラブになるための活動を第一の目標とします。本年度各委員会が掲げた目標を実現するた

めには、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、新生代委員会の委員長が相互に連絡をとりあい、密度の高い会合を行うことが不可欠であると思います。こう目標を掲げましたが、会合は3回位行っています。近年社会的、経済的にも不透明な状況が続いております。若者たちは将来に対し夢を失いかけています。景気の落ち込みも、個人、家庭、企業に対し、厳しい社会状況を突き付けられています。

私たちロータリアンは何をすれば良いのでしょうか？小さくても出来ることから始め、確実に一步一步進むことが大切に思います。ロータリアンの経営する企業が確実に前進することは、クラブの将来や地域社会にとって喜ばしいことだと思います。その結果、周辺に対し温かい支援を送ることも可能になり、働く場の提供や若者に夢を与えることも出来ると思います。誰もが明るく働ける社会の実現は、ロータリーの目指す究極の社会奉仕に繋がるわけです。私たちは各委員会と共に協力し合い、実現に向けて努力していきたく思っております。

職業奉仕委員長))))))) 片山) 進)

現代は厳しい経済状況下、まず会員の企業が確実に前進していくことが大切だと考えます。異職業の人たちとの交流の場であるロータリークラブは宝であります。苦難の時こそロータリーの真の価値が発揮される時であります。会員に対し例会が活発な意見交換の場となり、より良い価値のある時間となる様、努力したいと考えております。職業奉仕委員会としては、会員の企業や他の企業を訪問させて頂き、それを通して新しい発想、新技術、新知識の習得を目指していきたく思っています。社会貢献するためには揺るぎない企業の発展がその基礎として欠かせないものと考えます。特に具体的な項目は、企業訪問と経営者の実践的卓話と挙げていますが、今回、宮城県女川町の蒲鉾工場を、旅行を兼ねて見学する予定ですので、企業訪問はそれで達成できると思います。また職業奉仕と言いますのは、先ほどガバナーもお話されておりましたが、ロータリークラブに於いては重点的な項目だと思っております。

社会奉仕委員長))))))) 小島美恵子)

社会奉仕委員会は、会長の指針に基づき、「ALL FOR ONE, ONE FOR ALL」の精神でクラブや地域で必要とされる事柄を各会員が充実し、地域に役立つ活動を行っていきますということで、一番として大生病院の地域交流フリーマーケットに参加し、市内社会福祉施設等にその売り上げを寄付するという、毎年恒例の行事を行うことと、東日本大震災復興支援も継続して気持ちをそちらに向けて行こうということ、そして「目指せ、世界遺産」、アイバンクプライダル事業に対しても積極的に協力を惜しまないという心から成っています。

10月20日に大生病院での地域交流フリーマーケットを実施させて頂き、事前に並べる品物の値付け、前日には豚汁の下ごしらえ等々、皆さんにご協力頂いて23万円強という売り上げを上げることが出来ました。今後も、今回旅行で女川に行ってみますが、引き続き最後まで掲げた目標については努力して参りたいと思っております。

国際奉仕委員長))))))) 栗原成実)

私自身は、国際奉仕委員長を2年連続で担当させて頂いております。モンゴルに樹を植えるということが目的で、6年間の計画でしたので早く引き受けたのですが、6年前にはネパールにパワニ小学校を建設して参りました。いつもそうなのですが、この時は「識字率向上」、そして今回は「世界に飲み水を」という大きなタイトルがありましたので、モンゴルに植樹ということになったわけでございます。国際奉仕委員会だけで行える事業ではなく、実はこのきっかけになったのが米山奨学生、モンゴル大使の息子さんのジグジット・タミラ君、これを実行するに当たりましては、ケーブルテレビを同道するという事で広報委員会、それから職業を見てくるということで職業奉仕委員会、社会に貢献するという事で社会奉仕委員会、親睦も兼ねておりますので親睦委員会、そしてロータリー財団と、国際奉仕だけではなく狭山中央ロータリー全てが一つにならなければならない事業でございました。実際にはモンゴルに植樹をしたことは大変大きな効果があったのですが、単に植樹をしてきたということよりも、私個人は、会員同士が異国の地に立ちまして、一つになって大きな事業をやり遂げたという喜びが大きかったのではないかと思っております。また同時にモンゴルという国は日本の将来に渡って、最も重要な国になっていくのではないかと思っております。なんとかこの事業は3年間続けていきたくと、なんとか1年目は皆さんの協力で緒に就いたのではと思ひ、少し肩の荷を下したところです。

新世代委員長)) 高田虎光(代理・稲見幹事))

先ほどのガバナーのお話にありました新世代委員会とは、次世代の人を育てるということでした。そしてどのようなことを行っていくかという目標は、

1. 青少年を育てる狭山市民会議への協力
2. スポーツを通して心身ともに健康な成長のための支援を行う
3. 今こそ次世代のため、安心で安全な地域レベルでの環境の保全に努力していく

ということを掲げております。この中の2番目にありますことで、狭山になでしこリーグに所属する女子プロサッカーチーム、「狭山エースエルフェン」ががございます。この後援会に会員とクラブ全員が入りまして、協力に支援をしてきたいと考えております。

『ガバナー講評』)

奉仕プロジェクトということで、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代と括って頂きました。この辺りがロータリーで言う、自分の会社の事業目的みたいな形の部分であろうと思っております。まずは職業奉仕ということで、やはり常にレベルアップを図るべきだろうと思っております。私のクラブの話ですが、よく欠席するときに職業奉仕、自分の仕事をしてから職業奉仕ということで欠席する場合がありますが、ただ仕事をするということではなく、私は常にレベルアップを考える、お客様のための事を思って、世間のための事を思ってレベルアップを図る、結果としては絶対に自社のためになると思っております。こちらにも書かれております企業訪問、経営者の実践的卓話、これらも訪問した時にはこちらの会社はどのようなレベルアップをしているのだろうということ、失礼のない範囲で伺う、或いはまた実践的な卓話を頂くときにもそのようなことを、もしかするとまだレベルアップが出来ていなくても、自分ではこのようなレベルアップを今行っている最中なのだ、これからやろうと思っているということでも良いと思っておりますが、ただ漫然と行うのではなく、レベルアップというものを常に考えて頂ければ良いと思っております。

社会奉仕につきまして、フリーマーケットの話ですとか、東日本大震災の支援等色々行っております。大変素晴らしいことだと思っております。そしてある程度行っていないと、地域に定着しない、根付かないということがあり、ある一定の期間は行って頂く必要があると私も考えております。しかしあまり長くなるような場合には、たまには見直しをしたらどうだろうという考えを持っています。そして見直しをした結果良ければ、さらにまた続けられれば良いと思っております。例え話をさせて頂くと、少し昔の話なのですが、毎年クラブとして社会福祉協議会へ福祉という形でお金を差し上げていました。これが長く続いて来ると、あちらが最初に予算化をしてしまうのです。あちらの決算は3月末、総会が5月位に対して、こちらは6月末、7月からスタートです。ところが5月頃の総会では、こちらがまだ年度スタートをしておらず決めていないのに、ロータリークラブから頂くということで予定が入ってしまっているのです。このようなことがあると、少し考えなければいけないと私は思いました。決して長く行うことが駄目だという意味ではなく、少し考えてみる、あるクラブでは休んで考えてみるということもおっしゃっていましたが、こうしたことも必要かと思っております。例えば20年も30年も基本的に同じお金を出さないと、どこかの団体がやっていけないということでしたら、ロータリーとして自治体に対して支援をするようなことを意見具申する等、その辺りまであっても良いのではないかと思いました。実際に自分でもある社会法人に対し、このようなことを

させて頂いたこともありますし、時にはそのようなことがあっても良いのだと思っております。そして先ほど申し上げました、「ロータリー希望の風奨学金」是非ご協力頂きたいということ、また「めざせ世界遺産」にご協力頂けるということ、有り難く思っております。なぜこれを行っているかと言いますと、どうも埼玉は郷土に対する愛着心が他の都道府県に比べて低いということ、共同通信という会社が、全国の都道府県に対しての郷土愛ランキングというものを調査して出してみたところ、埼玉は第47位であったそうです。このようなことを含めて、私は郷土愛というものをもっと考えていかなければならないと思っております。ではなぜ「めざせ世界遺産」、さきたま古墳群が郷土愛かといえますと、県の教育委員会でも、あるとすればここが一番だとおっしゃっていますし、埼玉県名の発祥でもあります。もし郷土愛を育むことがロータリーでできるとしたら、これは本当に素晴らしい社会奉仕であろうと思っております。宜しくお願い致します。

そして国際奉仕、先ほど発表の中で異国の地の一つになったとありましたが、非常に良い表現だと思っております。実際に他所の大変厳しい所に行って、そこで一つの仕事を成し遂げるといえることは、まさにおっしゃる通り、異国の地で心が一つになるのだろうと、大変素晴らしい事業を行って頂いていると思えました。またモンゴルの干ばつ防止プロジェクトのお話をどこかでさせて頂こうと思っております。

新生代委員会につきましては、今まで社会奉仕で行っていた中で、特に若い人を中心とした新世代の事業もありますし、国際奉仕で行っていたものを新世代という形で行って頂いているというものがあります。地区の新世代はどちらかといいますと、国際的なものが多い訳ですが、クラブによりましては当然青少年を育てる等、色々なことをおやり頂くことはとても素晴らしいと思っております。

ロータリー財団副委員長)))) 栗原成実)

国際奉仕の関係から、私が財団の副委員長を仰せつかったのだと思っておりますが、ただいま財団の方から寄付を頂くために、申請書を提出してあちこちからサインを頂いているところでございます。先般モンゴルに行った時も、フレロータリークラブの会長さんのサイン、並びにフォレスタ-NGOの会長さんのサイン等を頂いてきましたが、それでも不十分で書類が全部整っておりません。英文でもう一度こちらにサインをとという箇所が何カ所ありますが、そのためにわざわざモンゴルに行くわけにはいきませんので、前大使のジグジット氏を通じてサインを頂くような手筈を整えております。しかし財団の松本さんや茂木さんに意見を伺いますと、この手の申請は過去に却下された経緯があるということで、少し肩を落として

いるところですが、しかし私たちのクラブは、それが不採択でも、やれることだけはやっておこう、その資料がまたゆくゆくは生きていくのだらうと、めげずに動いております。

ガバナーにお願いなのですが、書類を見ますと、申請が非常に複雑で、特に異国間でサインをしあうということ、ましてやモンゴルのガバナーは香港でしたかマカオでしたか、一つに括られており、そこまで行ってサインを頂くことは不可能かと思えます。できましたらこのような財団の資金も、何パーセントか何割かは日本で評価をし、日本で決済できないものかと、わざわざアメリカの本部に伺いを立てなくても、日本の使い分という割合で送って頂けると、国内の中で処理でき、例えば会長がお話したように3万本の樹も植えることが出来るのかなと思えます。もしも何かの機会がありましたら、こうしたことをお聞き願えれば有り難いと思っております。

ロータリー財団に対する会員の人間に対する寄付行為は完璧に進んでおりますし、特別寄付も個々で進んでおりまして、順調でございます。

米山記念奨学委員長)))))) 柴田) 謙)

私も2年連続で米山奨学委員長をさせて頂いております。たまたま数年前に、米山記念事業の奨学生として、ジグジット・タミラ君をカウンセラーするきっかけがあったことが、今日まで発展している経過になったということについては、正に米山記念奨学会の国と国との関係・交流を深めていくためのきっかけになれば有り難いという目的の一つにはなっていると思えます。同時に、私も痛感する一つですが、国際情勢の中で、中国、韓国とあのような問題が起こっていて、皆さんの心の中に引っかかっていると思うのですが、先般10月28日のセミナーの中でもそのような意見がいくつか出ております。

私がカウンセラーを行った時、既に奨学生を受け入れる場合の選択の方法が変わってきており、これは金子副理事長さんの時でしたが、わざわざ私どものクラブでご説明頂きました。やはり交流を深めるという視点に立って、最近手法を変えてきているということを申されておりました。特に2570地区の荒川から西の側は、十数校ある大学の推薦によって行っているのだということでした。この推薦も、前大澤部門委員長さんがおっしゃるには、そうしたお話を縷縷されましたけれども、今中国等は特に半分以上に抑えているのだと、こう言っておられました。けれども私にとってみれば1/3以下にして欲しいと言いたいです。そして他の場所、ミャンマー、ベトナム等の非常に親日的な国が東南アジアに沢山ありますので、選択する際に規制をして頂ければ有り難いと思っております。他のクラブの方もそれを強く言っておられ、私も本当に共感を得ています。この辺りを特に考えて頂きたいと思えます。

皆さんに御礼を言わなければいけないのですが、今回米山奨学基金の特別寄付を4名の方から頂きました。昨年は6名頂いております。4名の中の一人に私が幹事をしていたときに会長をされていた方がいらっしゃいますが、その方から意見を出されておりますので、ガバナーにお渡し致します。そしてこのことは、井上部門委員長にも先般のセミナーの際にお伝えしてあります。この辺もお考え頂ければと思います。

先ほどガバナーがお話されていた通り、長期的に行っていることについては見直しも必要だということ、これは本当にその通りだと思います。見直しも是非お願いしたいと思っております。

クラブ研修リーダー)))))) 古谷) 博)

クラブ研修は何をやったらいいのかといいますが、抽象的でなかなか分かりにくい部分があるかも知りませんが、私事ですが昨年会長をやらせて頂いて、直前会長が他のクラブでも自動的にクラブ研修リーダーをやっているように見受けられます。ここに書いてある通り、全体的なクラブのスムーズな運営ですとか、昔はロータリー情報委員会というものがあつたのですが、それに付随するのかと解釈しております。

私は創立当時、1993年にチャーターメンバーとして入会し、時間だけは非常に長いのですが、18年位はロータリーのことが分らず、飲み会などには積極的に参加していたのですが、あまり勉強もせず、ロータリー情報誌もあまり読みませんでした。しかし2年間は一生懸命勉強しようと、色々なセミナーに積極的に参加し、ロータリーのことも分つたのですが、一生懸命全力で走ったせいか、今はもう少し忘れてしまいました。しかし大事なことは、資料にも書かれている通り、クラブの健全な運営、出席、楽しくクラブ運営をするということだと思えます。また、ロータリーの情報等の提供、増強等も残りの半年で私も努力していきたいと思えます。

今年の春の地区協議会の雑誌を持ってきたのですが、狭山中央ロータリークラブが一番多い時、1996年に48名おりました。だんだんこのクラブも減っているようで、私の入会当時は2570地区で2800人いたのですが、今は1800人を少し減ったような状態です。会員増強が当面の我々の課題なのかと思えます。そして退会防止も含め努力していきたいと思えます。

フレッシュマンセミナーが9月に地区で行われたのですが、その時にも「希望の風」のお話ができて、私も新聞記事を見た時に心を打たれました。ぜひ、西川前ガバナーにこのようなお話をし頂ける機会があれば良いなと思えました。

『ガバナー講評』)

ロータリー財団につきまして、色々のご寄付をありがとうございます。財団の補助金が頂けるか

どうかという点につきましては、私も細かいところはわかっていないのですが、是非松本さんの方からも話をしてもらおうようにしたいと思います。補助金は頂くのに厄介だという声があちこちにあります。先ほどお話した新聞特集、こちらも値切って110万円かかっています。補助金を70数万円頂きましたが、これもやはり自分で書いて申請を出したのですが、7月1日出すものを前の年から一生懸命準備をしておりました。結果頂くことが出来ましたが、出す時にも色々窓口の人達と話をしながら、上手くアドバイスを頂いて申請するようにしました。

このクラブの方は皆、とても良いことを言います。仮に駄目でも、やっておくと次に花開くということをおっしゃっていましたが、本当に素晴らしいと思っております。この気持ちを是非伝えたいと思います。

米山奨学については、日本の中でも、特に奨学生の選択、これは一つには国別も問題もありますし、今日も他のガバナーからメールを頂いたのですが、日本の人も対象にすべきではないかという意見までも含めて、今出ております。「財団」になっているためつまらない理由を言うのですが、すぐにとすることは難しいですが、確実に先ほどのご意見のような動きが日本全体の中で出てきております。私自身もそうした声をあげておりますが、「言われました」「はい、そうしましょう」という体質にはなっておりません。細かいことを言いますと、事務局辺りが答えてくるので、この間「あなたは答える立場ではないでしょう」と言ったことがありました。「役員が答えるならともかく、事務局が駄目だなんて何を考えているのだ」と言ったのですが、このようなことも含めて、こうした声が少しずつ多くなっていきつつあることも事実です。

過去に色々とお世話を頂きまして、大変ありがとうございます。私の考えなのですが、一言だけ言わせて頂くと、米山の奨学生が来て、お客様扱いをし過ぎるのではないかと感じております。これも他所のクラブでよく話をさせて頂いているのですが、あるクラブ、20名程のクラブに公式訪問に行きましたところ、小さなクラブなのに事務員さんが昼食やお茶出しを2人で行っていました。事務員さんが2人で大変だなと私は思っておりましたが、クラブ協議会が終わった時に、実は一人はお世話をしていた米山の学生だと紹介されました。このような形でいつもやっているとお話していましたが、これは素晴らしいことだと思いました。その他、クラブが行っている奉仕事業等に積極的に参加をしてもらっている等、このようなことも含めて、我々考えていかなければならないと思います。国別等の問題につきましても、私自身も同じように考えております。すぐには出来ないかもしれませんが、この声はまた上げていきたいと思っております。

最後にクラブ研修リーダーさんからお話を頂きました。このクラブには地区の委員がおりますので、よく地区と相談するということが、また色々な勉強をする必要がありますけれども、一番残念なのは入った方が理解されないで辞めてしまうということなので、そうした意味でフレッシュマンセミナーに力をいれて頂ければ有り難く、そして「希望の風奨学金」が良く分かるようなセミナーをされたいということ、是非そのようなこともお願いをしたいと考えております。宜しくお願い致します。

【ガバナー総評】)

こちらのクラブは皆様方が前向きに、積極的に活動頂いているという、相対的な感想を持たせて頂きました。それから何といたしても、以前にはネパールに学校を建てて頂き、またモンゴルの干ばつ防止ということを3年事業で取り組んで頂くということ、大変素晴らしいという感想を述べさせて頂き、講評とさせて頂きます。

【ガバナー補佐講評】)

この場をお借りいたしまして、御礼とお願いをさせて頂きたいと思っております。

お陰様で本日をもちまして、第3グループ内12クラブの公式訪問を終了しようとしております。皆様方のご協力に厚く感謝申し上げます。お願いですが、第3グループと致しましては、来年3月にIMを予定しております。既に実行委員会も立ち上げまして、着々と準備を進めております。この点に関しましては、是非ご協力下さいませ。宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。



ニコニコボックス

若松君 本日は、第 2570 地区ガバナー鈴木秀憲様、ようこそお出で頂きました。ご指導よろしくお願い致します。

稲見君 鈴木秀憲ガバナー、ようこそお出で頂きました。今日一日よろしく申し上げます。

江原君 第 2570 地区ガバナー鈴木秀憲様、本日はようこそお出で下さいました。卓話楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。ガバナー補佐の平岡達也様、地区副幹事の湯本茂作様、橋本恭一様、ようこそお出で下さいました。今日一日何卒よろしくお願い申し上げます。

古谷君 本日は、鈴木様、平岡様ようこそ。公式訪問よろしく申し上げます。

竇積君 鈴木ガバナーようこそ。
11月9日、いきいき連結成 10周年の巨大モザイクの壁画が、大生B棟西側に完成しました。一度見に来て下さい。

栗原(憲)君 ガバナー鈴木秀憲様、ガバナー補佐平岡達也様、地区副幹事湯本茂作様、橋本恭一様ようこそお出で下さいました。よろしくお願い致します。

栗原(成)君 鈴木ガバナー公式訪問ありがとうございます。野口建司会員の復活を心より喜んでます。

守屋君 鈴木秀憲様、本日はご指導の程よろしくお願い致します。

中谷君 鈴木ガバナー、平岡ガバナー補佐、本日は公式訪問ありがとうございます。ご指導よろしく申し上げます。

野口(建)君 皆様、大変ご心配お掛け致しましたが、例会に出席出来るまでになりました。入院中、お見舞い頂き心より感謝致します。ありがとうございました。
(この他にも、快気祝いとして頂戴いたしましたので、ニコニコへ入れさせて頂きました)

沼崎君 鈴木ガバナー、ようこそいらっしゃいました。よろしくご指導申し上げます。

小幡君 鈴木秀憲ガバナーようこそ当クラブへお出で頂き、ありがとうございます。ご指導よろしくお願い致します。また、野口建司さんまたロータリー活動一緒に行動しましょう。

奥富君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナー鈴木秀憲様、よろしく申し上げます。

柴田君 鈴木ガバナー本日はよろしく申し上げます。野口パスト会長、病気回復おめでとうございます。

山室君 ガバナー鈴木秀憲様、他皆様ようこそいらっしゃいました。本日の卓話、クラブ協議会よろしく申し上げます。

吉松君 2570 地区鈴木ガバナー、ようこそいらっしゃいました。品実はよろしく申し上げます。

狭山中央RC美女軍団
鈴木ガバナー、平岡ガバナー補佐、本日はようこそお出で下さいました。念入りに化粧をしてお待ちしておりました。よろしく申し上げます。



2012～2013年度 鈴木秀憲ガバナー公式訪問 2012.11.13 於:狭山東武サロン